



週報 佐土原ロータリークラブ

会長：村上 實 副会長：宮原建樹

幹事：日高邦孝 会計：山本兼裕

事務局：吉野由里子 会報委員：藤堂孝一

例会場：サンホテルフェニックス

例会場住所：宮崎市大字塩路浜山 3083 番地

例会場 TEL：0985-21-1313・FAX 0985-21-1347

事務局住所：宮崎市佐土原町下田島 11703-18 TEL0985-62-7833 FAX0985-62-7877

RI2730 地区ガバナー 山下浩三

中部分区ガバナー補佐 池田豊繁

RI 会長テーマ **奉仕を通じて平和を**

2730 地区テーマ 夢・誇り・挑戦

すばらしいロータリーへの再生

RI テーマ

奉仕を通じて平和を

第 1225 回例会 平成 24 年 8 月 29 日(水)

今日のプログラム

1.点 鐘

2.ロータリーソング

『我らの生業』

3.会長の時間

4. 幹事報告

5.出席報告

7.ハッピーBOX披露

8.委員会報告

9.ガバナー公式訪問を終えて

フォーラム

10、SAAより次週例会案内

11、点鐘

第 1224 回例会記録 平成 24 年 8 月 23 日 (木)

■会長の時間 会長 村上 實君



皆様こんにちは本日は第 1224 回の例会です。三クラブ合同での初の「ガバナー公式訪問」でもあります。初の試みに会長という大役を経験できます事は今後の私自身のロータリー人生の中で大きな意義を成す事だと考えて大変嬉しく思っています。

佐土原ロータリークラブ 25 周年の節目に会長を引き受けることになり非常に光栄に思っています。ただ、まだ私自身のロータリー暦が 4 年である為、勉強の 1 年だと思い全会員と協力して頑張りたいと思います。

我がクラブの今年度のテーマは、「社会奉仕・職業奉仕・会員増強」の 3 つであり、テーマに基づいて地域に密着した佐土原ロータリークラブでありたいと思います。

3 つの中でも、「会員増強」を最大のテーマとして取り組み、現在の 23 名から 30 名を達成する為、全会員でチームワーク良く進めていける様頑張りたいと思います。

又本日は終了後 3 クラブで懇親会を行いまた一歩深くお互いの会員同士が親交を深められる場を西

都クラブさんの方で用意していただいております。皆様と有意義な時間を共有出来ます事に感謝申し上げます。



上げます。



■幹事報告幹事高 邦孝君

* 例会変更届～佐土原 RC

8 月 29 日夜間例会を通常のお昼の例会へ変更します。

* ガバナー運営についてご協力の御願い

* クラブ社会奉仕セミナー出欠名簿添付送付

* 米山記念奨学秋季例祭の案内文書

■出席報告

原田 宗忠君



▲会員数 (23 名・出席免除 2 名)

▲出席数 15 名

▲欠席届 8 名 梶田君・郡司君・山本君・柳田君・村岡君・林君・福井君・吉田君

▲出席率 76.1%

▲修正 85.7%

■ハッピーBOX披露

長倉 祐一郎君



<ニコニコへ>

◎ 村上 實君～3 クラブ合同ガバナー公式訪問を迎えて盛大に盛り上がりましょう

◎ 藤堂 孝一君～山下ガバナーをお迎えして

◎ 正岡 文郁君～ガバナー公式訪問おめでとうございます。ご盛會を祈念いたします。

<財団へ>

◎ 中武 幹雄君～3 クラブ合同公式訪問おめでとうございます。

◎ 岩切 正司君～山下皓三ガバナーをお迎えして。

■ ガバナーアドレス

R I 第 2730 地区 ガバナー 山下皓三



皆様こんにちは、2012-13 年度のガバナーの重責を担うことになりました鹿児島西ロータリー・クラブ所属の山下皓三です。よろしくお願ひします。

田中作次 R I 会長は今年度のテーマを「奉仕を通じて平和を」とされました。国際協議会においてテーマへの思いと R I 戦略計画を強調されました。ロータリーは変革期を迎えています。国際ロータリーでは R I 戦略計画の活動の実践化を推進し、ロータリー財団では未来の夢計画を次年度から世界全ての地区において実施を開始いたします。しかし、ロータリアンやロータリー・クラブがこのことについて十分な知識が無いままでは対応が遅れてしまいます。また、ロータリーのことについての知識が備わったロータリアンが減ってきたようにも思います。ロータリーのことを知らずにロータリーを楽しむことは出来ません。今年度は、このことを踏まえて研修会を充実していきます。また、ロータリーの根幹でもあります職業奉仕については、地区大会においてシンポジウムや行動展示、ポスター展示など職業奉仕をコンセプトに大会を企画しています。なぜ、ロータリーがロータリアンの行動規範を基に、四つのテストや職業宣言など高い道徳的水準を促進しているかを考えていただきたいと思います。今期の地区のテーマは夢・誇り・挑戦 一すばらしいロータリーへの再生一です。そして、行動指針はロータリーを学び・考え・行動するクラブづくりとしました。地区では行動計画を 17 項目掲げて実施してまいります。地区・リーダーシップ・プラン (D L P) は地区レベル、クラブレベルでロータリーを強化・充実する目的で 10 年前から採用してきました。その延長計画としてロータリー・クラブの強化を目的にクラブ・リーダーシップ・プラン (C L P) を推奨してきましたが、四大奉仕がなくなるのではないかとこの誤解から各クラブの C L P 導入への意識は低下していたようです。しかし、国際ロータリーの R I 戦略計画や次年度から実施されるロータリー財団の未来の夢計画を考えると地区とクラブとの連携が取れやすい C L P 導入推奨する根拠の説明が必要になっ

てきました。社会の変化に対応できる組織でなければロータリーも存在意義がなくなります。地域に必要とされ、世界で最も優れた市民団体と認められるために、効果的なクラブづくりをして、クラブを活性化することが大切です。結果として、会員の維持増強に繋がるのではないのでしょうか。委員会構成だけでなく、機能の備わった組織としての C L P を理解していただきたいと思います。

■ クラブフォーラムの様子

クラブを代表して・・藤堂 孝一君

C L P について



我がクラブが 26 名程度の少数会員のクラブでは、委員会構成そのものの計画が困難でした。2005 年度の時に委員会構成がクラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕の 4 つの奉仕委員会が柱となりクラブ奉仕に

親睦・出席等の小委員会に分類されていてその構成に必要な人数は最低 17 人必要でそれに役員人数を入れると 6 人必要となり 24 名から 27 名の会員数では各委員会に委員長を選出すると委員会構成の委員がなくなり最低一人で 3 つの委員会に所属するという現実的でない組織になっていたのが現状で、何も活動の出来ない状態でした。最低でも 35 人くらいは会員が必要な組織構成だったのを痛感していました。そのような時期に C L P という構想がある事を、田中毅 PG のホームページで知ることになり数年かけて我がクラブに導入しようとの計画を立て、2006 年 7 月 1 日からの年度に導入して現在に至っています。当時の委員会構成はクラブ管理委員会・クラブ広報委員会・ロータリー財団・奉仕プロジェクト委員会・会員増強委員会の 5 つの委員会で構成していました。現在 6 年を経過しており、長所、短所出てきています。長所 委員会構成が無理なく全会員が参加できる構成となっていてすっきりした感じになっています。短所は 5 つの委員長の下に小委員会がぶら下がった状態で、小委員会の責任者意識が少なくなってきたのが現実です。

■ 集合記念写真



4 つのテスト
『言行はこれに照らしてから』
1・真実かどうか
2・みんなに公平か
3・好意と友情を深めるか
4・みんなのためになるかどうか

次週の予定
9 月 5 日 フォーラム 新世代について
9 月 12 日 会員卓話 大久保貞子・永野陽子
9 月 19 日 会員卓話 原田宗忠・田邊揮一郎
9 月 26 日 会員卓話 吉田康一郎・宮原建樹
10 月 3 日 フォーラム 職業奉仕について

編集後記
3 クラブ合同の懇親会が例会後、あかのやに於いて開催された。全会員が一言スピーチをして盛会でした。